

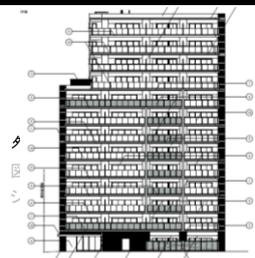
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川西市火打1丁目計画	階数	地上13F
建設地	川西市火打一丁目13街区1-1、1-2、1-3	構造	RC造
用途地域	市街化区域	平均居住人員	184 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2020/6/30
敷地面積	1,068 m ²	作成者	株式会社 都市建 一級建築士事務所 鷲田 員利
建築面積	406 m ²	確認日	
延床面積	3,594 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆ 30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.4 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9 	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.3
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
外皮に十分な断熱性能を施して熱損失を抑制すると共に、高効率機器や節水型機器を採用し、敷地内温熱環境の向上や資源の保護に努めています。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。遮音性 T-2 仕様です。	給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。	緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮しています。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外皮性能を等級4仕様で熱負荷抑制へ配慮しています。	節水型便器などを採用して節水を図っています。	LED照明を採用して設備システムの高効率化を図っています

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい